

平成 23 年度、村全体で子どもたちを育てる環境を整えるため『あおきっ子教育ポイント5か条』が策定されました。24 年度から 4 年間取り組んできましたが、今年度、条文の文言などを含め内容を見直すことになりました。改定が進む新5か条について、青木小学校の森先生にお話しをお聞きしました。



新5か条によせて

保小中一貫教育5か条委員会世話係 森 政彦（青木小）

5か条委員会は、前年度の反省から子育てフォーラムで大事にしている自尊感情が感じられる5か条にしようと4月から5か条の改定に着手しました。

まず、自尊感情について考えました。子どもたちの自尊感情を高めるために特に必要と思われるものが自己有用感です。人の役に立った、人から感謝された、人から認められたという自己有用感は、他人の役に立った、他人に喜んでもらった等相手の存在なしには生まれません。子どもを取り巻く大人の力が不可欠なのです。自己有用感が高まれば自尊感情は育つに違いないと考え、新5か条には人との関わりや人から認められる言葉を多く盛り込んであります。

次に、青木村の大きな特色、体験活動について考えました。5か条は、確かにどれも大切な家庭教育のポイントですが、青木村らしさに欠けると考えたのです。青木村の子どもたちは、義民太鼓やスポーツ少年団、あおきっ子合宿など多くの献身的な大人の力で支えられています。他地域とは、比べものにならない多彩なものです。子どもたちは、そうした体験活動の中で生きた力を人と関わることで獲得しています。これを盛り込まない手はありません。

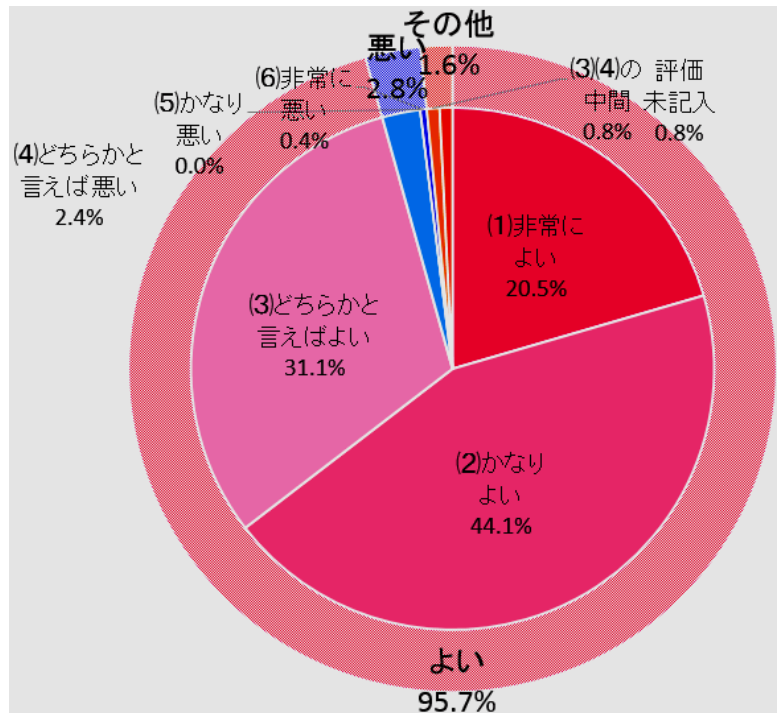
また、時を同じくして、東京オリンピックのロゴの盗作問題が大々的に報道されました。そこで、著作権の観点でも5か条を見直しました。「早寝早起き朝ごはん」は文部科学省が進めるキャッチコピーなので問題ありませんが、旧2条の「あいさつは魔法の言葉」はACジャパンのCMに酷似しているので変更し、イラストについても著作権の許可をとりました。

最後にこだわった語句は、「あおきっ子」です。最初は親しみやすいよう「あおきっこ」とひらがな表記に変更しようと考えました。しかし、調べてみると江戸っ子のようにその土地で育った人を表す場合は漢字表記となるとのこと。そこで、再び漢字にもどしました。「あおきっ子」は、「青木村の子ども」の意味だけでなく、大人も含めた「青木村で育った人々」を

表しています。青木村のすべての人が、あおきっ子教育ポイント5か条を心にとめ、次代を担うあおきっ子とともに育ててほしいという願いが込められています。

さて、全家庭と職員に回答していただいた新5か条のアンケートでは、「よい」が96%に達する多くの支持をいただきました。さらによくするアイデアの欄には多くの貴重な意見をいただき、それらをできる限り反映し、最終の新5か条になっています。すべてを盛り込むことはできませんでしたが、多くの方々の一語一句の願いの上に新5か条が形作られています。貴重な意見をいただいたすべての皆さんに感謝です。子どもを思う気持ちが積み上げられた新5か条を青木村の家庭教育の指針として日々の生活にいかし、青木の子どもたちが大きく育つことを願ってやみません。

11/30 配布の5か条改訂に向けた最終アンケートの集計結果



あおきっ子教育ポイント新5か条早わかり

ところで、何が変わったの？ そんな声にお答えするためQ&Aを用意しました。

Q どんなコンセプトで作られているの？

A ずばり、「自己有用感」です。人とふれあい、相手を好意的に受けとめたり、人や社会のつながりを感じとったりする中で、子どもは自分に自信を持ちます。自己有用感とは、「集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということを確認すること」です。（前文・4条・5条に明示）



Q どんなレイアウトで作られているの？

A ずばり、「親しみやすさ」です。各条項に「1日のスタート」のようなタイトルをつけ、ねらいを分かりやすくしました。明治図書出版のご厚意（モノクロの6枚）で、人とのふれあいや取り組みの喜びが感じられるイラストを採用しました。

あおきっ子教育ポイント

親子で話そう ふれあおう
ほら きらり輝く良さがある
その子らしさが きっとある

5か条

第1条 一日のスタート

早寝 早起き 朝ごはん 元気に歩いて学校へ

睡眠は成長を 朝食は午前の勉強を左右します 歩けば体力のある子に



第2条 あいさつ

思い切って 言ってみよう
互いにとっこり いい気分

「おはよう」から始まる社会力 まずは大人から子どもに声がけを



第3条 時間の使い方

①自ら こつこつ 家庭で学習

学年 × 10 分以上で中3までに 90 分超え 決まった時間に決まった場所で

②メディアは ルールを決めて  スマホは持たせない

テレビ・ゲーム・ネットは 1 日 90 分以内
親子で情報モラルを学び インターネットの危険から子どもを守る



第4条 働き学ぶ

親子いっしょに お手伝い
想像ふくらむ 読書の時間

「ありがとう」「うれしいよ」その一言で働くことが喜びに 学ぶことが楽しみに



第5条 豊かな体験

挑戦し 感動し 人とふれあい ともに成長

自然の中での外遊び 地区や村の行事 スポーツ少年団や部活動



Q 1条はどう変わったの？

A 変わっていません。体力低下をふまえて、歩いて登校することを少し強調してあります。

Q 2条はどう変わったの？

A 変わっていません。あいさつが苦手な子の立場で、人とあいさつをかわす良さを表しています。

Q 3条はどう変わったの？

A 変わりました。前の3条と4条の2つを合わせて時間の使い方を見直すという内容です。

①の家庭学習では、学習時間の目安を目標とすべき値ではなく適切な値（下限）に変えています。習慣化のために「決まった時間に決まった場所」が入りました。

②のメディアとの付き合い方では、「週に1度は見ないやらないテレビとゲーム」はかなり難しい目標のためなくしました。携帯電話をスマホに変え、情報モラルが入りました。

Q 4条はどう変わったの？

A 少し変わりました。前の5条にあたりますが、ねらい（ニートにならない、生涯学び続ける）を明確にしてあります。家庭でほめてのばす良い機会という位置づけです。

Q 5条はどう変わったの？

A 新しく追加しました。体験プログラムが、ずば抜けて多い青木村。これに参加して、人の中で子どもを育てるといった願いが込められています。

Q 「ルールを決めて」とあるけど、どんなルール？

A たとえば、「平日はゲームをしない」、「夜9時以降は、LINEをしない」、「食事中はテレビを消す」など家庭ごとにルールを決めてほしいと思います。

Q 「スマホは持たせない」が黄色いのは？

A 人と対面できない、着信がないことが不安、やらなければいけないことが出来ない、睡眠に支障が出る、宿題のカンニング、陰でのいじめ、不本意な言葉や映像が拡散、援助交際、児童ポルノ、詐欺……。スマホは百害あって一利なしです。「友だちが持っているから安易に買う」、「互いに約束を守れば不要なのに利便性を優先して買う」を抑止するために強調してあります。

----------*-----*-----*-----*-----*-----*-----*-----*

編集後記

来年度から新あおきっ子教育ポイント5か条が始まります。新ポスターが配布されましたらお家の目のつくところに貼り、みなさんで気持ちを新たに取り組んでいきましょう。